

第8回神戸国際消化器内視鏡ハンズオンセミナー 実施報告書

【開催期間】 2019年6月14日（金）～6月16日（日）

【開催場所】 神戸医療機器開発センター（MEDDEC）、神戸ポートピアホテル

【参加人数】 54名（内訳）受講者 海外 25名（8カ国）

講師 海外 1名、国内 11名

助手等 海外 2名、国内 15名

8回目の開催となる、神戸国際消化器内視鏡ハンズオンセミナーでは、香港、ブラジル、UKをはじめ、8カ国から25名の消化器内視鏡医を対象に、切除組織及び生体ブタを用いた内視鏡的粘膜下層剥離術の実技指導を行いました。

6月14日（金）の初日には、神戸ポートピアホテルにてイブニングセミナーを開催し、4名の講師による講義及びビデオケースプレゼンテーションが実施された。

講義タイトル：

SESSION 1 司会：豊永 高史（神戸大学医学部附属病院）

SPECIAL LECTURE

“Aiming at dissemination of ESD in Latin America”/Andres Donoso（Pontifical Catholic University of Chile）

SESSION 2 司会：梅垣 英次（川崎医科大学付属病院）、道田 知樹（埼玉医科大学総合医療センター）、町田 浩久（医療法人弘仁会 まちだ胃腸病院）

How to perform ESD - Tips & Troubleshooting -

「Esophagus」/石田 司（明石医療センター）、「Stomach」/上堂文也（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター）、「Colorectum」/森田 圭紀（神戸大学医学部附属病院/ICCRC）

6月15日（土）及び6月16日（日）の2日間においては、神戸医療機器開発センターにて、初日は切除組織、2日目には生体ブタを用いた内視鏡的粘膜下層剥離術の実技指導を行った。トレーニングは、各参加者が講師による指導を一对一で受けられるよう、35分ずつのタイムテーブルが組まれて行われ、2日目においては初日とは別の講師の指導になるよう、グループ分けがされた。

両日の昼食時間にはランチョンセミナーを開催し、赤松講師、山本講師及び吉田講師による講義が実施された。

講義タイトル：

6月15日（土） 座長：町田 浩久（医療法人 弘仁会 まちだ胃腸病院）

“Advanced ESD for Upper GI”/赤松 拓司（日本赤十字社和歌山医療センター），“Advanced ESD for Lower GI”/山本 克己（JCHO大阪病院）



6月16日（日） 座長：森田 圭紀（神戸大学医学部附属病院/ICCRC）

“Improvement of precutting EMR and ESD for colorectal tumors”/吉田 直久（京都府立医科大学）

最終日のトレーニング終了後には、3日間にわたって開催されたセミナーのまとめとしてトレーニングサマリーが実施され、内視鏡の治療手技について質疑応答を含めた様々な意見交換がされた。

参加者の大半が、次回のセミナーもぜひ参加したいとの意向を示され、今回も非常に高い評価を頂いたセミナーとなつた。

国別セミナー受講者数 2019

Country	Participation
Hong Kong	9
Brazil	5
UK	4
Australia	3
Colombia	1
Costa Rica	1
India	1
Taiwan	1
計8カ国	25

セミナー事務局

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野

コースディレクター 森田 圭紀

秘書 田中 佐葉子